## 慶應義塾大学学術情報リポジトリ Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	臨床心理における教育と実践 : その理想的相互作用を目指して : その2				
Sub Title	臨床心理にのりる教育と実践:その理想的相互作用を目指して:その2 Education and practice in clinical psychology : towards its ideal interaction : Part 2				
Author	Education and practice in clinical psychology : towards its ideal interaction : Part 2 森, さち子(Mori, Sachiko)				
Publisher	林, さらナ(Mon, Sachiko) 慶應義塾大学				
	度隐我至八子 2021				
Publication year					
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2020.)				
JaLC DOI					
Abstract	<ul> <li>新型コロナウィルス感染拡大のため当初の事業計画の変更を余儀なくされた。</li> <li>第一に、高齢着を主とした新たな形のグループ療法の実践は不可能となった。そこで、2018年10</li> <li>月から2020年2月までに実施した8名の高齢者を対象としたグループセンションの記録(映像や 速語)を納密に検討する作業を行なった。それらの詳細な記録をもとに、参加した高齢者にも一 連の体験を振り返ってもらい、それぞれの「話り」をさらに検討した。その作業に大学生が関わ ることも有益であった。分析作業全体を通して、高齢者のグループ療法において同世代のみでな く、大学生などの系世代も加えた混在型の実践を行う方向性を明確にすることができた。</li> <li>第二に、新型コロナウィルス感染拡大防止に伴う、入前から強調内ウンセリングへの切り着え あくる臨床研究を行った。当初計画していた学生(70例)以外に、実際にコロナ禍の中で不安 が高まった人(DVに晒されている親子:60,うつ、引きこもり状態にある人:21例)にも対 象を広げた。ケース検討の結果を以下に更知する。</li> <li>1.遠隔には、キャンセルを減少させ継続的な実後ができる利点があった。また、カメラオンに抵 ががある場合には音声のみにするなど、柔軟性のある間わりが行えた。</li> <li>2.遠隔導入に不安、あるいは対面を強く希望する場合は、可能な限り対面の構造を維持する必要 もあった。</li> <li>3.SNSに慣れている世代では、遠隔への抵抗はあまり強くないが、面接時に秘密を保てる空間を 確保できるかが課題だった。</li> <li>4.少なくとも初回は対面で行なった後に遠隔に移行できれば、カウンセラーの不安は軽減した。</li> <li>5.コロナ禍におけるカウンセラーの臨床教育において、遠隔は状況によっては繊細やりとりが 難しくなることもあるが、対面が開発な場合は有用な手段となることがわかった。 今後さらに遠隔カウンセリングの総験を蓄積し、間主観性の視点からカウンセリングの気の向上 に貢献していきたい。</li> <li>Due to the spread of the new coronavirus infection, the original business plan had to be changed.</li> <li>Piter (Helder) people conducted new forms of group therapy, mainly for the elderly.</li> <li>Therefore, we conducted a detailed examination of the records (videos and verbatim) of group sessions for eight elderly people who participated to look back on the series of experiences and further examined their "narratives." It was also beneficial for university students to be involved in the work. Throughout the analysis work, we were able to clarify the elderly.</li> <li>Therefore, we conducted to those who actually became anxious due to the corona disaster (parents and children exposed to domestic violence: 6 cases, depressed, withdrawn: 21 cases).</li> <li>The results of the case study are summarized below.</li> <li>Remote counseling has the advantage of reducing cancellations and providing continuous support. In addition, if there was resistance to two is possible to have a fiexible relationship, such as using of strongly wanted to meet face-to-face, it was necessary to mainter the sace structure as much</li></ul>				

Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2020000009-20200001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 2020 年度 学事振興資金(共同研究)研究成果実績報告書

T T				例 几			
研究代表者	所属	総合政策学部	職名	教授	──補助額	205	тп
	氏名	森 さち子	氏名(英語)	Sachiko Mori	而功復	325	325 千円
			研究課題(日本	語)			
臨床心理におけ	ける教育と実践	ーその理想的相互作用を目	指して一 その2	2			
			研究課題(英語	<b>告</b> )			
Education and [	Practice in Clir	nical Psychology -Towards It					
		lical F sychology T owards I		JII Fait Z			
			<del>777</del> - <b>5</b> -5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5				
	4		研究組織	mhh A			
氏 森さち子 (Mori	名 Name	総合政策学部	所属・学科	,職名 Affiliation, department, a	nd position		
林さらナ(Mori 濱田庸子(Yok							
лдшл <b>д</b> ] (Ток	o Hamaua/		研究成果実績	う 清 単			
· · · · · · · · · · ·	····································						
		のため当初の事業計画の変			0000 年0日+	オー中佐」	+.0
				った。そこで、2018 年 10 月から こ検討する作業を行なった。そ:			
				- 検討りる1F来を1」なった。そうらに検討した。その作業に大学			
				でなく、大学生などの孫世代も			
向性を明確にす							
				シグへの切り替えをめぐる臨り			
-				ニ晒されている親子:6例、うつ	、引きこもり状態	態にある人	.:21
		検討の結果を以下に要約す			ス냳수に나프로	まのみにす	-zti
	ペン ビルと派				입物ㅁㅣㄴㅣㅅㅂㅏ	- 07071- 9	50.9
			る利用がめりた	。また、カメラオンに抵抗があ			
ど、柔軟性のあ	る関わりが行き	えた。		。また、カメフオンに抵抗かめ の構造を維持する必要もあった			
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入にす 3.SNS に慣れて	る関わりが行き 「安、あるいはこ こいる世代では	えた。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く	可能な限り対面 くないが、面接時	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で	L_ 0	った。	
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回	る関わりが行き マ、あるいは こいる世代では 回は対面で行な	えた。 対面を強く希望する場合は、 、、遠隔への抵抗はあまり強く いた後に遠隔に移行できれ	可能な限り対面 くないが、面接時 ば、カウンセラー	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。	た。 きるかが課題だ		1###
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍にお	る関わりが行; 「安、あるいは; こいる世代では 回は対面で行な けるカウンセラ	えた。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く いた後に遠隔に移行できれ 一の臨床教育において、遠	可能な限り対面 くないが、面接時 ば、カウンセラー	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で	た。 きるかが課題だ		難な
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍にお 場合は有用な引	る関わりが行; マ安、あるいは; こいる世代では 回は対面で行な けるカウンセラ 手段となることか	えた。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く いた後に遠隔に移行できれ 一の臨床教育において、遠 がわかった。	可能な限り対面 くないが、面接時 、ば、カウンセラー 隔は状況によっ	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。	こ。 きるかが課題だ ることもあるが、		]難な
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍にお 場合は有用な引	る関わりが行; マ安、あるいは; こいる世代では 回は対面で行な けるカウンセラ 手段となることか	えた。 対面を強く希望する場合は、 、、遠隔への抵抗はあまり強く いた後に遠隔に移行できれ 一の臨床教育において、遠 がわかった。 、の経験を蓄積し、間主観性の	可能な限り対面 〈ないが、面接時 、ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し	こ。 きるかが課題だ ることもあるが、		難な
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入にオ 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍にお 場合は有用な引 今後さらに遠隔	る関わりが行; マ安、あるいは; こいる世代では 回は対面で行た けるカウンセラ E段となることが カウンセリング	えた。。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く たった後に遠隔に移行できれ 一の臨床教育において、遠 がわかった。 での経験を蓄積し、間主観性の 2.研究	可能な限り対面 くないが、面接時 ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の概	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保でき の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな ンセリングの質の向上に貢献し 要(英訳)	こ。 きるかが課題だ ることもあるが、		難な
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre	る関わりが行き マ、あるいは にいる世代では 回は対面で行た けるカウンセラ 手段となることが カウンセリング	えた。。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く たった後に遠隔に移行できれ ーの臨床教育において、遠 がわかった。 の経験を蓄積し、間主観性の 2.研 coronavirus infection, the or	可能な限り対面 くないが、面接時 、ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の概 riginal business	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保でき の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな ンセリングの質の向上に貢献し 要(英訳)	た。 きるかが課題だ ることもあるが、 たていきたい。	対面が困	
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bee	る関わりが行 マ安、あるいは こいる世代では 回は対面で行た けるカウンセラ 手段となることが カウンセリング ad of the new come impossib	えた。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く たった後に遠隔に移行できれ ーの臨床教育において、遠 がわかった。 の経験を蓄積し、間主観性の 2.研究 coronavirus infection, the on le to practice new forms on	可能な限り対面 くないが、面接時 ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の棚 riginal business f f group therapy,	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) Dan had to be changed.	た。 きるかが課題だ ることもあるが、 たていきたい。 fore, we condu	対面が困 	tailed
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍にお 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bee examination of f 2020. Based on	る関わりが行 マ安、あるいは こいる世代では 回は対面で行た けるカウンセラ 手段となることだ カウンセリング ead of the new come impossib the records (vi these detaile	えた。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く たった後に遠隔に移行できれ つの臨床教育において、遠 がわかった。 の経験を蓄積し、間主観性の 2.研 coronavirus infection, the or ble to practice new forms or ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld	可能な限り対面 (ないが、面接時 ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の棚 riginal business p f group therapy, o sessions for eig lerly people who	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) plan had to be changed. mainly for the elderly. There th elderly people conducted for participated to look back on	た。。 きるかが課題だ ることもあるが、 っていきたい。 fore, we condu rom October 20 the series of e	対面が困 cted a dei 118 to Feb xperiences	tailed ruary s and
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍にお 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has ber examination of 2020. Based on further examine	る関わりが行 マ安、あるいは こいる世代では 回は対面で行た けるカウンセラ 手段となることだ カウンセリング and of the new come impossib the records (vi these detaile ad their <sup></sup>	えた。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く たった後に遠隔に移行できれ つの臨床教育において、遠 がわかった。 の経験を蓄積し、間主観性の 2.研 coronavirus infection, the or ble to practice new forms or ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial	可能な限り対面 (ないが、面接時 (ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の棚 riginal business p f group therapy, o sessions for eig lerly people who l for university s	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) plan had to be changed. mainly for the elderly. There the elderly people conducted for participated to look back on tudents to be involved in the	た。。 きるかが課題だ ることもあるが、 っていきたい。 fore, we condu rom October 20 the series of e work. Througho	対面が困 cted a dei 118 to Feb xperiences out the ana	tailed ruary s and alysis
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bee examination of 1 2020. Based on further examine work, we were a	る関わりが行 マ安、あるいは こいる世代では 回は対面で行た けるカウンセラ 手段となることだ カウンセリング ad of the new come impossib the records (vi the se detaile ad their "narra able to clarify	えた。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く いた後に遠隔に移行できれ ーの臨床教育において、遠 がわかった。 の経験を蓄積し、間主観性の 2.研究 coronavirus infection, the or ble to practice new forms or ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial the direction of mixed-gener	可能な限り対面 (ないが、面接時 (ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウ: 究成果実績の概 riginal business f f group therapy, o sessions for eig lerly people who l for university s ration practice in	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) plan had to be changed. mainly for the elderly. There th elderly people conducted for participated to look back on	た。。 きるかが課題だ ることもあるが、 っていきたい。 fore, we condu rom October 20 the series of e work. Througho	対面が困 cted a dei 118 to Feb xperiences out the ana	tailed ruary s and alysis
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bee examination of f 2020. Based on further examine work, we were a generation but a	る関わりが行 マ安、あるいは こいる世代では 回は対面で行た けるカウンセラ 手段となることが カウンセリング ad of the new come impossib the records (vi these detaile able to clarify also grandchild	えた。 対面を強く希望する場合は、 、、遠隔への抵抗はあまり強く いた後に遠隔に移行できれ いつの臨床教育において、遠 がわかった。 の経験を蓄積し、間主観性の 2.研 coronavirus infection, the or ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial the direction of mixed-gener ren generation such as univer-	可能な限り対面 (ないが、面接時 (ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の概 riginal business f f group therapy, o sessions for eig lerly people who l for university s ration practice in ersity students.	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で っの不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) Dan had to be changed. mainly for the elderly. There the elderly people conducted fin participated to look back on tudents to be involved in the or group therapy for the elderly	た。 きるかが課題だ ることもあるが、 .ていきたい。 fore, we condu rom October 20 the series of e work. Throughor , including not	対面が困 cted a det 118 to Feb xperiences out the ana only the el	tailed ruary s and alysis Iderly
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bee examination of f 2020. Based on further examine work, we were a generation but a Second, we co	る関わりが行き マ、あるいは にる世代では 回は対面で行た けるカウンセラ を たなることが かウンセリング ad of the new come impossib the records (vi these detaile ed their ″narra able to clarify also grandchild onducted clinic	えた。 対面を強く希望する場合は、 、、遠隔への抵抗はあまり強く いた後に遠隔に移行できれ 一の臨床教育において、遠 がわかった。 の経験を蓄積し、間主観性の 2.研 coronavirus infection, the or ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial the direction of mixed-gener ren generation such as univer cal research on switching	可能な限り対面 (ないが、面接時 ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の概 riginal business f group therapy, o sessions for eig lerly people who l for university s ration practice in ersity students. from face-to-fa	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) plan had to be changed. mainly for the elderly. There the elderly people conducted for participated to look back on tudents to be involved in the	た。。 きるかが課題だ ることもあるが、 っていきたい。 fore, we condu rom October 20 the series of e work. Througho , including not prevent the	対面が困 cted a det 118 to Feb xperiences out the ana only the el spread of	tailed ruary s and alysis Iderly new
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bea examination of f 2020. Based on further examine work, we were a generation but a Second, we co coronavirus infe anxious due to	る関わりが行き マ、あるいは こいる世代では 回は対面で行た けるカウンセラ たなることが カウンセリング ad of the new come impossib the records (via these detaile ed their ″narra able to clarify also grandchild onducted clinic ection. In addit the corona di	えた。 対面を強く希望する場合は、 、、遠隔への抵抗はあまり強く いった後に遠隔に移行できれ、 一の臨床教育において、遠 がわかった。 か経験を蓄積し、間主観性の 2.研 coronavirus infection, the or ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial the direction of mixed-gener ren generation such as univer cal research on switching ion to the originally planned saster (parents and children	可能な限り対面 (ないが、面接時 ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の棚 riginal business f group therapy, o sessions for eig lerly people who l for university s ration practice in ersity students. from face-to-fa students (70 ca	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) Dan had to be changed. mainly for the elderly. There tht elderly people conducted fin participated to look back on tudents to be involved in the in group therapy for the elderly nee to remote counseling to	た。 きるかが課題だ ることもあるが、 っていきたい。 fore, we condu rom October 20 the series of e work. Througho r, including not prevent the to those who a	対面が困 cted a det 118 to Feb xperiences out the ana only the el spread of ctually be	tailed ruary s and alysis Iderly new came
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bee examination of f 2020. Based on further examine work, we were a generation but a Second, we co coronavirus infe anxious due to The results of t	る関わりが行き マ、あるいは こいる世代では 回は対面で行た けるカウンセラ になることが カウンセリング add of the new come impossib the records (via these detaile ed their ″narra able to clarify also grandchild onducted clinic ection. In addit the corona di the case study	えた。 対面を強く希望する場合は、 、、遠隔への抵抗はあまり強く いた後に遠隔に移行できれ、 一の臨床教育において、遠 がわかった。 か経験を蓄積し、間主観性の 2.研 coronavirus infection, the or ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial the direction of mixed-gener ren generation such as univer cal research on switching ion to the originally planned saster (parents and children are summarized below.	可能な限り対面 (ないが、面接時 (ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の棚 riginal business f group therapy, o sessions for eig lerly people who I for university s ration practice in ersity students. from face-to-fa students (70 ca n exposed to do	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で っの不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) Dan had to be changed. mainly for the elderly. There the elderly people conducted fin participated to look back on tudents to be involved in the n group therapy for the elderly nee to remote counseling to ses), the target was expanded mestic violence: 6 cases, dep	た。 きるかが課題だ ることもあるが、 っていきたい。 fore, we condu rom October 20 the series of e work. Throughor y including not prevent the to those who a pressed, withdra	対面が困 cted a det 118 to Feb xperiences out the ana only the el spread of ctually be awn: 21 ca	tailed ruary s and alysis Iderly new came ases).
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍にお 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bee examination of f 2020. Based on further examine work, we were a generation but a Second, we co coronavirus infe anxious due to The results of t 1. Remote cou	る関わりが行き マ、あるいは にいる世代では 回は対面で行た けるカウンセラ 手段となることが カウンセリング ead of the new come impossib the records (via these detaile ed their "narra able to clarify also grandchild onducted clinic ection. In addit the corona di the case study unseling has t	えた。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く たった後に遠隔に移行できれ 一の臨床教育において、遠 がわかった。 の経験を蓄積し、間主観性の 2.研究 coronavirus infection, the or ble to practice new forms or ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial the direction of mixed-gener ren generation such as univer cal research on switching ion to the originally planned saster (parents and children are summarized below. he advantage of reducing	可能な限り対面 (ないが、面接時 ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の棚 riginal business i f group therapy, o sessions for eig lerly people who l for university s ration practice in ersity students. from face-to-fa students (70 ca n exposed to do cancellations ar	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) Dan had to be changed. mainly for the elderly. There the elderly people conducted for participated to look back on tudents to be involved in the or group therapy for the elderly nee to remote counseling to ses), the target was expanded mestic violence: 6 cases, dep d providing continuous supp	た。。 きるかが課題だ ることもあるが、 こていきたい。 fore, we condur rom October 20 the series of e work. Throughor , including not prevent the to those who a pressed, withdra ort. In additior	対面が困 cted a det 118 to Feb xperiences out the ana only the el spread of ctually be awn: 21 ca	tailed ruary s and alysis Iderly new came ases).
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bee examination of f 2020. Based on further examine work, we were a generation but a Second, we co coronavirus infe anxious due to The results of t 1. Remote cou resistance to tu	る関わりが行き マ、あるいは にいる世代では したるカウンセラ たるカウンセラ たるカウンセリング ためウンセリング cad of the new come impossib the records (via these detaile able to clarify also grandchild onducted clinic ection. In addit the corona di the case study inseling has to urning on the c	えた。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く たった後に遠隔に移行できれ 一の臨床教育において、遠 がわかった。 の経験を蓄積し、間主観性 2.研究 coronavirus infection, the or ble to practice new forms or ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial the direction of mixed-gener ren generation such as univer- cal research on switching ion to the originally planned saster (parents and childrent are summarized below. he advantage of reducing amera, it was possible to har	可能な限り対面 (ないが、面接時 ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の棚 riginal business p f group therapy, o sessions for eig lerly people who l for university s ration practice in ersity students. from face-to-fa students (70 ca n exposed to do cancellations ar ve a flexible rela	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) Dan had to be changed. mainly for the elderly. There the elderly people conducted for participated to look back on tudents to be involved in the m group therapy for the elderly nee to remote counseling to ses), the target was expanded mestic violence: 6 cases, dep d providing continuous supp tionship, such as using only vo	た。。 きるかが課題だ ることもあるが、 っていきたい。 fore, we condur rom October 20 the series of e work. Throughor , including not prevent the to those who a pressed, withdra ort. In additior pice.	対面が困 cted a dei 118 to Feb xperiences out the ana only the el spread of ctually be awn: 21 ca n, if there	tailed ruary s and alysis Iderly new came ases). was
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bee examination of f 2020. Based on further examine work, we were a generation but a Second, we co coronavirus infe anxious due to The results of t 1. Remote cou resistance to tu	る関わりが行き マ、あるいは にる世代では したるカウンセラ たるカウンセラ たるカウンセリング ためウンセリング add of the new come impossib the records (vi these detaile ad their "narra able to clarify also grandchild onducted clinic ection. In addit the corona di the case study inseling has the urning on the covorried about	えた。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く たった後に遠隔に移行できれ 一の臨床教育において、遠 がわかった。 の経験を蓄積し、間主観性の 2.研究 coronavirus infection, the or ble to practice new forms or ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial the direction of mixed-gener ren generation such as univer- cal research on switching ion to the originally planned saster (parents and childrent are summarized below. he advantage of reducing amera, it was possible to have remote counseling or strong	可能な限り対面 (ないが、面接時 ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の棚 riginal business p f group therapy, o sessions for eig lerly people who l for university s ration practice in ersity students. from face-to-fa students (70 ca n exposed to do cancellations ar ve a flexible rela	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) Dan had to be changed. mainly for the elderly. There the elderly people conducted for participated to look back on tudents to be involved in the or group therapy for the elderly nee to remote counseling to ses), the target was expanded mestic violence: 6 cases, dep d providing continuous supp	た。。 きるかが課題だ ることもあるが、 っていきたい。 fore, we condur rom October 20 the series of e work. Throughor , including not prevent the to those who a pressed, withdra ort. In additior pice.	対面が困 cted a dei 118 to Feb xperiences out the ana only the el spread of ctually be awn: 21 ca n, if there	tailed ruary s and alysis Iderly new came ases). was
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bee examination of f 2020. Based on further examine work, we were a generation but a Second, we co coronavirus infe anxious due to The results of t 1. Remote cou resistance to tu 2. If you were v face structure a 3. The generation	る関わりが行き マ、あるいは にる世代では したるサウンセラ になりウンセラ たまなることだ かウンセリング ad of the new come impossib the records (via these detaile able to clarify also grandchild onducted clinic ection. In addit the corona di the case study unseling has the unning on the cover as much as po- on accustomed	えた。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く たった後に遠隔に移行できれ 一の臨床教育において、遠 がわかった。 の経験を蓄積し、間主観性の 2.研究 coronavirus infection, the or ble to practice new forms or ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial the direction of mixed-general rengeneration such as univer- cal research on switching ion to the originally planned saster (parents and children are summarized below. he advantage of reducing amera, it was possible to have remote counseling or strong ssible. d to SNS does not have muta-	可能な限り対面 (ないが、面接時 (ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の棚 riginal business p f group therapy, o sessions for eig lerly people who l for university s ration practice in ersity students. from face-to-fa students (70 ca n exposed to do cancellations ar ve a flexible rela- gly wanted to me ch resistance to	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) Dan had to be changed. mainly for the elderly. There the elderly people conducted for participated to look back on tudents to be involved in the m group therapy for the elderly nee to remote counseling to ses), the target was expanded mestic violence: 6 cases, dep d providing continuous supp tionship, such as using only vo	た。 きるかが課題だ ることもあるが、 っていきたい。 fore, we condur rom October 20 the series of e work. Throughor , including not prevent the to those who a pressed, withdra ort. In addition ice. ssary to mainta	対面が困 cted a dei 118 to Feb xperiences out the ana only the el spread of ctually be awn: 21 ca a, if there	tailed ruary s and alysis Iderly new came ases). was e-to-
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bee examination of f 2020. Based on further examine work, we were a generation but a Second, we con coronavirus infe anxious due to The results of t 1. Remote cour resistance to tu 2. If you were w face structure a 3. The generation space where the	る関わりが行き マ、あるいは にる世代では 回は対面で行た けるカウンセラ を たかウンセリング ad of the new come impossib the records (vi these detaile able to clarify also grandchild onducted clinic ection. In addit the corona di the case study unseling has the uning on the cover as much as po- on accustomed ey could keep	えた。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く たった後に遠隔に移行できれ 一の臨床教育において、遠 がわかった。 の経験を蓄積し、間主観性の 2.研究 coronavirus infection, the or ble to practice new forms or ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial the direction of mixed-general the direction of mixed-general saster (parents and children are summarized below. he advantage of reducing amera, it was possible to har remote counseling or strong ssible. d to SNS does not have much secrets during the counseling	可能な限り対面 (ないが、面接時 (ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の棚 riginal business p f group therapy, o sessions for eig lerly people who l for university s ration practice in ersity students. from face-to-fa students (70 ca n exposed to do cancellations ar ve a flexible rela- gly wanted to me ch resistance to ng.	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) Dan had to be changed. mainly for the elderly. There the elderly people conducted fir participated to look back on tudents to be involved in the m group therapy for the elderly the target was expanded mestic violence: 6 cases, dep d providing continuous supp tionship, such as using only vo et face-to-face, it was necess remote counseling, but the im	た。。 きるかが課題だ ることもあるが、 っていきたい。 fore, we condur rom October 20 the series of e work. Throughor , including not prevent the to those who a pressed, withdra ort. In addition ice. ssary to mainta	対面が困 cted a det 118 to Feb xperiences out the and only the el spread of ctually be awn: 21 ca a, if there in the face	tailed ruary s and alysis Iderly new came ases). was e-to-
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bee examination of 1 2020. Based on further examine work, we were a generation but a Second, we con coronavirus infe anxious due to The results of t 1. Remote cour resistance to tu 2. If you were w face structure a 3. The generation space where the 4. The counselo	る関わりが行き マ、あるいは になせ代では したる世代では したるカウンセラ たまなることだ カウンセリング ad of the new come impossib the records (vi these detaile able to clarify also grandchild onducted clinic ection. In addit the corona di the case study unseling has the corried about to as much as poo on accustomed ey could keep or's anxiety wa	えた。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く たった後に遠隔に移行できれ 一の臨床教育において、遠 がわかった。 の経験を蓄積し、間主観性の 2.研究 coronavirus infection, the or ble to practice new forms or ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial the direction of mixed-general ren generation such as univer- cal research on switching ion to the originally planned saster (parents and children are summarized below. he advantage of reducing amera, it was possible to har remote counseling or strong ssible. d to SNS does not have much secrets during the counseling s alleviated if remote counsel	可能な限り対面 (ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の棚 riginal business p f group therapy, o sessions for eig lerly people who l for university s ration practice in ersity students. from face-to-fa students (70 ca n exposed to do cancellations ar ve a flexible rela gly wanted to me ch resistance to ng. eling could be st	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) Dan had to be changed. mainly for the elderly. There the elderly people conducted fi participated to look back on tudents to be involved in the n group therapy for the elderly the target was expanded mestic violence: 6 cases, dep d providing continuous supp tionship, such as using only vo et face-to-face, it was necess remote counseling, but the im arted after face-to-face at lea	た。。 きるかが課題だ ることもあるが、 っていきたい。 fore, we condured rom October 20 the series of e work. Throughor including not prevent the to those who a pressed, withdra ort. In addition ice. sary to mainta	対面が困 cted a def 118 to Feb xperiences out the and only the el spread of ctually be awn: 21 ca a, if there in the face vas to sec time.	tailed ruary s and alysis Iderly new came ases). was e-to- ure a
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bee examination of 1 2020. Based on further examine work, we were a generation but a Second, we con coronavirus infe anxious due to The results of t 1. Remote cour resistance to tu 2. If you were w face structure a 3. The generation space where the 4. The counselon 5. In the clinical	る関わりが行き マ、あるいは になっ世代では しいる世代では しいる世代では しかうウンセラ になりウンセラ を たかウンセリング ad of the new come impossit the records (vi these detaile ed their "narra able to clarify also grandchild onducted clinic ection. In addit the corona di the case study unseling has the corried about to as much as poo on accustomed ey could keep or's anxiety wa I education of	えた。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く たった後に遠隔に移行できれ 一の臨床教育において、遠 がわかった。 の経験を蓄積し、間主観性の 2.研究 coronavirus infection, the or ble to practice new forms or ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial the direction of mixed-general ren generation such as univer- cal research on switching ion to the originally planned saster (parents and children are summarized below. he advantage of reducing amera, it was possible to har remote counseling or strong ssible. d to SNS does not have much secrets during the counseling s alleviated if remote counsel counselors in the corona cr	可能な限り対面 (ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の棚 riginal business p f group therapy, o sessions for eig lerly people who l for university s ration practice in ersity students. from face-to-fa students (70 ca n exposed to do cancellations ar ve a flexible rela gly wanted to me ch resistance to ng. eling could be st isis, remote sup	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) Dan had to be changed. mainly for the elderly. There the elderly people conducted fi participated to look back on tudents to be involved in the figroup therapy for the elderly nee to remote counseling to ses), the target was expanded mestic violence: 6 cases, dep d providing continuous supp tionship, such as using only vo et face-to-face, it was necess remote counseling, but the im arted after face-to-face at lead ervision is difficult to communication	た。。 きるかが課題だ ることもあるが、 っていきたい。 fore, we condured rom October 20 the series of e work. Throughor including not prevent the to those who a pressed, withdra ort. In addition ice. sary to mainta	対面が困 cted a def 118 to Feb xperiences out the and only the el spread of ctually be awn: 21 ca a, if there in the face vas to sec time.	tailed ruary s and alysis Iderly new came ases). was e-to- ure a
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bee examination of f 2020. Based on further examine work, we were a generation but a Second, we con coronavirus infe anxious due to The results of t 1. Remote cour resistance to tu 2. If you were v face structure a 3. The generation space where the 4. The counselo 5. In the clinical the situation, but	る関わりが行き マ、あるいは にる世代では 回は対面で行た けるカウンセラ 声段となることが カウンセリング ad of the new come impossib the records (vin abole to clarify also grandchild onducted clinic ection. In addit the corona di the case study inseling has to worried about in as much as poor on accustomed ey could keep or's anxiety wa I education of ut it has been	えた。 対面を強く希望する場合は、 、 遠隔への抵抗はあまり強く いった後に遠隔に移行できれ ーの臨床教育において、遠 がわかった。 の経験を蓄積し、間主観性の 2.研究 coronavirus infection, the or- ole to practice new forms or- ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial the direction of mixed-gener ren generation such as univer- cal research on switching ion to the originally planned saster (parents and children are summarized below. he advantage of reducing amera, it was possible to har remote counseling or strong ssible. d to SNS does not have much secrets during the counseling s alleviated if remote counsel counselors in the corona cr found to be a useful means of the of the original means of the advantage of the counseling of the advantage of reducing of the advantage of the advantage of the advantage	可能な限り対面 (ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の棚 riginal business p f group therapy, o sessions for eig lerly people who l for university s ration practice in ersity students. from face-to-fa students (70 ca n exposed to do cancellations ar ve a flexible rela gly wanted to me ch resistance to ng. eling could be st isis, remote sup when face-to-fa	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) Dan had to be changed. mainly for the elderly. There the elderly people conducted fi participated to look back on tudents to be involved in the n group therapy for the elderly the target was expanded mestic violence: 6 cases, dep d providing continuous supp tionship, such as using only vo et face-to-face, it was necess remote counseling, but the im arted after face-to-face at lea	た。。 きるかが課題だ ることもあるが、 っていきたい。 fore, we condur rom October 20 the series of e work. Throughor , including not prevent the to those who a pressed, withdra ort. In addition pice. ssary to mainta uportant point w st for the first icate elaborated	対面が困 cted a det 118 to Feb xperiences out the and only the el spread of ctually be awn: 21 ca awn: 21 ca in the face vas to sec time. y dependin	tailed ruary s and alysis lderly new came ases). was e-to- ure a ng on
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bee examination of f 2020. Based on further examine work, we were a generation but a Second, we con coronavirus infe anxious due to The results of t 1. Remote cour resistance to tu 2. If you were v face structure a 3. The generation space where the 4. The counselo 5. In the clinical the situation, but	る関わりが行き マ、あるいは にる世代では しる世代では しる力ウンセラ にるカウンセラ たるカウンセラ たなることが カウンセリング ad of the new come impossib the records (vin a these detaile ed their "narra able to clarify also grandchild onducted clinic ection. In addit the corona di the case study inseling has the urning on the corona di the case study inseling has the urning on the corona di the case study inseling has the por's anxiety wa I education of ut it has been e would like to	えた。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く こった後に遠隔に移行できれ 一の臨床教育において、遠 がわかった。 の経験を蓄積し、間主観性の 2.研究 coronavirus infection, the or- ole to practice new forms or- ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial the direction of mixed-gener ren generation such as univer- cal research on switching ion to the originally planned saster (parents and children are summarized below. he advantage of reducing amera, it was possible to have remote counseling or strong ssible. d to SNS does not have much secrets during the counseling s alleviated if remote counsel counselors in the corona cr found to be a useful means of accumulate more experience	可能な限り対面 (ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の棚 riginal business p f group therapy, o sessions for eig lerly people who l for university s ration practice in ersity students. from face-to-fa students (70 ca n exposed to do cancellations ar ve a flexible rela gly wanted to me ch resistance to ng. eling could be st isis, remote sup when face-to-fa	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) Dan had to be changed. mainly for the elderly. There the elderly people conducted fin participated to look back on tudents to be involved in the fin group therapy for the elderly nee to remote counseling to ses), the target was expanded mestic violence: 6 cases, dep d providing continuous supp tionship, such as using only vo et face-to-face, it was necess remote counseling, but the im arted after face-to-face at lead ervision is difficult to communi- ce communication is difficult.	た。。 きるかが課題だ ることもあるが、 っていきたい。 fore, we condur rom October 20 the series of e work. Throughor , including not prevent the to those who a pressed, withdra ort. In addition pice. ssary to mainta uportant point w st for the first icate elaborated	対面が困 cted a det 118 to Feb xperiences out the and only the el spread of ctually be awn: 21 ca awn: 21 ca in the face vas to sec time. y dependin	tailed ruary s and alysis lderly new came ases). was e-to- ure a ng on
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bee examination of f 2020. Based on further examine work, we were a generation but a Second, we con coronavirus infe anxious due to The results of t 1. Remote cour resistance to tu 2. If you were v face structure a 3. The generation space where the 4. The counselo 5. In the clinical the situation, bu In the future, we	る関わりが行き マ、あるいは にる世代では しる世代では しる力ウンセラ にるカウンセラ たるカウンセラ たなることが カウンセリング ad of the new come impossib the records (vin a these detaile ed their "narra able to clarify also grandchild onducted clinic ection. In addit the corona di the case study inseling has the urning on the corona di the case study inseling has the urning on the corona di the case study inseling has the por's anxiety wa I education of ut it has been e would like to	えた。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く たった後に遠隔に移行できれ、 一の臨床教育において、遠 がわかった。 か経験を蓄積し、間主観性の 2.研究 coronavirus infection, the or ple to practice new forms or ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial the direction of mixed-gener rengeneration such as univer cal research on switching ion to the originally planned saster (parents and children are summarized below. he advantage of reducing amera, it was possible to have remote counseling or strong ssible. d to SNS does not have much secrets during the counseling s alleviated if remote counse counselors in the corona cri found to be a useful means of accumulate more experience subjectivity.	可能な限り対面 (ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の棚 riginal business p f group therapy, o sessions for eig lerly people who l for university s ration practice in ersity students. from face-to-fa students (70 ca n exposed to do cancellations ar ve a flexible rela gly wanted to me ch resistance to ng. eling could be st isis, remote sup when face-to-fa	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保でき の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな レセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) Dan had to be changed. mainly for the elderly. There the elderly people conducted fin participated to look back on tudents to be involved in the in group therapy for the elderly nee to remote counseling to ses), the target was expanded mestic violence: 6 cases, dep d providing continuous supp tionship, such as using only vo et face-to-face, it was necess remote counseling, but the im arted after face-to-face at leas ervision is difficult to communic ce communication is difficult. nseling and contribute to impr	た。。 きるかが課題だ ることもあるが、 っていきたい。 fore, we condure or October 20 the series of e work. Throughor , including not prevent the to those who a pressed, withdra ort. In addition pice. ssary to mainta apportant point w st for the first icate elaborated	対面が困 cted a det 118 to Feb xperiences out the and only the el spread of ctually be awn: 21 ca awn: 21 ca in the face vas to sec time. y dependin	tailed ruary s and alysis lderly new came ases). was e-to- ure a ng on
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bee examination of f 2020. Based on further examine work, we were a generation but a Second, we con coronavirus infe anxious due to The results of t 1. Remote cour resistance to tu 2. If you were v face structure a 3. The generation space where the 4. The counselo 5. In the clinical the situation, bu In the future, we	る関わりが行き マ、あるいは につる世代では 回は対面で行た けるカウンセラ たまなることだ カウンセリング ad of the new come impossib the records (vin these detaile able to clarify also grandchild onducted clinic ection. In addit the corona di the case study unseling has the analytic about the conducted clinic ection. In addit the corona di the case study unseling has the analytic about the as much as po- on accustomed ey could keep or's anxiety wa I education of at it has been e would like to ective of inters	えた。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く たった後に遠隔に移行できれ、 一の臨床教育において、遠 がわかった。 か経験を蓄積し、間主観性の 2.研究 coronavirus infection, the or ple to practice new forms or ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial the direction of mixed-gener rengeneration such as univer cal research on switching ion to the originally planned saster (parents and children are summarized below. he advantage of reducing amera, it was possible to have remote counseling or strong ssible. d to SNS does not have much secrets during the counseling s alleviated if remote counse counselors in the corona cri found to be a useful means of accumulate more experience subjectivity.	可能な限り対面 (ないが、面接時 (ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の棚 riginal business p f group therapy, o sessions for eig lerly people who I for university se ration practice in ersity students. from face-to-fa students (70 ca n exposed to do cancellations ar ve a flexible rela- gly wanted to me ch resistance to ng. eling could be st isis, remote sup- when face-to-fa ce in remote cou	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保でき の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな レセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) Dan had to be changed. mainly for the elderly. There the elderly people conducted fin participated to look back on tudents to be involved in the in group therapy for the elderly nee to remote counseling to ses), the target was expanded mestic violence: 6 cases, dep d providing continuous supp tionship, such as using only vo et face-to-face, it was necess remote counseling, but the im arted after face-to-face at leas ervision is difficult to communic ce communication is difficult. nseling and contribute to impr	た。。 きるかが課題だ ることもあるが、 っていきたい。 fore, we condured rom October 20 the series of e work. Throughor , including not prevent the to those who a pressed, withdrated ort. In addition pressed, withdrated ort. In addition portant point w est for the first icate elaborated oving the qualit	対面が困 cted a dei 118 to Feb xperiences out the ana only the el spread of ctually be awn: 21 ca n, if there was to sec time. y dependin y of couns 発行年月	tailed ruary s and alysis lderly new came ases). was e-to- ure a ng on seling
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spree First, it has bee examination of f 2020. Based on further examine work, we were a generation but a Second, we con coronavirus infe anxious due to The results of t 1. Remote cour resistance to tu 2. If you were v face structure a 3. The generation space where the 4. The counselou 5. In the clinical the situation, bu In the future, we from the perspect	る関わりが行き マ、あるいは につる世代では 回は対面で行た けるカウンセラ たまなることだ カウンセリング ad of the new come impossib the records (vin these detaile able to clarify also grandchild onducted clinic ection. In addit the corona di the case study unseling has the analytic about the conducted clinic ection. In addit the corona di the case study unseling has the analytic about the as much as po- on accustomed ey could keep or's anxiety wa I education of at it has been e would like to ective of inters	えた。 対面を強く希望する場合は、 、遠隔への抵抗はあまり強く たった後に遠隔に移行できれ、 一の臨床教育において、遠 がわかった。 の経験を蓄積し、間主観性の 2.研 coronavirus infection, the or- ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial the direction of mixed-gener- ren generation such as univer- cal research on switching ion to the originally planned saster (parents and children are summarized below. he advantage of reducing amera, it was possible to har remote counseling or strong ssible. d to SNS does not have muc secrets during the counseling s alleviated if remote counsel counselors in the corona cr found to be a useful means of accumulate more experience ubjectivity. 3. z <u> 発表課題名</u> (著書名・演題) 10年の歳月を経て、『症	可能な限り対面 (ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の棚 riginal business p f group therapy, o sessions for eig lerly people who l for university s ration practice in ersity students. from face-to-fa students (70 ca n exposed to do cancellations ar ve a flexible rela gly wanted to me ch resistance to ng. eling could be st isis, remote sup when face-to-fa ce in remote cou <b>本研究課題に関</b>	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) Dan had to be changed. mainly for the elderly. There the elderly people conducted fi participated to look back on tudents to be involved in the figroup therapy for the elderly nee to remote counseling to ses), the target was expanded mestic violence: 6 cases, dep d providing continuous supp tionship, such as using only vo et face-to-face, it was necess remote counseling, but the im arted after face-to-face at lea ervision is difficult to communic ce communication is difficult. nseling and contribute to impr <b>かる発表</b> 発表学術誌名 著書発行所・講演学会)	た。。 きるかが課題だ ることもあるが、 っていきたい。 fore, we condured rom October 20 the series of e work. Throughor , including not prevent the to those who a pressed, withdra ort. In addition ice. sary to mainta aportant point w st for the first icate elaborated oving the qualit	対面が困 cted a dei 118 to Feb xperiences out the ana only the el spread of ctually be awn: 21 ca n, if there was to sec time. y dependin y of couns 発行年月	tailed ruary s and alysis lderly new came ases). was e-to- ure a ng on seling
ど、柔軟性のあ 2.遠隔導入に不 3.SNS に慣れて 4.少なくとも初回 5.コロナ禍におり 場合は有用な引 今後さらに遠隔 Due to the spre First, it has bee examination of 1 2020. Based on further examine work, we were a generation but a Second, we con coronavirus infe anxious due to The results of t 1. Remote cour resistance to tu 2. If you were v face structure a Space where the 4. The counselo 5. In the clinical the situation, bu In the future, we from the perspect R表表者 (著者・)	る関わりが行き マ、あるいは につる世代では 回は対面で行た けるカウンセラ たまなることだ カウンセリング ad of the new come impossib the records (vin these detaile able to clarify also grandchild onducted clinic ection. In addit the corona di the case study unseling has the analytic about the conducted clinic ection. In addit the corona di the case study unseling has the analytic about the as much as po- on accustomed ey could keep or's anxiety wa I education of at it has been e would like to ective of inters	えた。 対面を強く希望する場合は、 、 遠隔への抵抗はあまり強く たった後に遠隔に移行できれ 一の臨床教育において、遠 がわかった。 の経験を蓄積し、間主観性の 2.研究 coronavirus infection, the of le to practice new forms of ideos and verbatim) of group d records, we asked the eld tives." It was also beneficial the direction of mixed-generation ren generation such as univer- cal research on switching ion to the originally planned saster (parents and childrent are summarized below. the advantage of reducing amera, it was possible to have remote counseling or strong ssible. d to SNS does not have much secrets during the counseling s alleviated if remote counsel counselors in the corona crifted found to be a useful means of accumulate more experience tubjectivity. 3. 2 <u> 発表課題名</u> (著書名・演題)	可能な限り対面 (ないが、面接時 (ば、カウンセラー 隔は状況によっ の視点からカウン 究成果実績の棚 riginal business i f group therapy, o sessions for eig lerly people who I for university s ration practice in ersity students. from face-to-fa students (70 ca n exposed to do cancellations ar ve a flexible rela- gly wanted to me ch resistance to is, remote sup- when face-to-fa ce in remote cou <b>本研究課題に関</b> 例をめぐ 精神分	の構造を維持する必要もあった に秘密を保てる空間を確保で の不安は軽減した。 ては繊細なやりとりが難しくな マセリングの質の向上に貢献し 要(英訳) Dan had to be changed. mainly for the elderly. There the elderly people conducted fi participated to look back on tudents to be involved in the figroup therapy for the elderly nee to remote counseling to ses), the target was expanded mestic violence: 6 cases, dep d providing continuous supp tionship, such as using only vo et face-to-face, it was necess remote counseling, but the im arted after face-to-face at lea ervision is difficult to communic ce communication is difficult. nseling and contribute to impr <b>かる発表</b> 発表学術誌名 著書発行所・講演学会)	きるかが課題だ ることもあるが、 っていきたい。 fore, we condur rom October 20 the series of e work. Throughor , including not prevent the to those who a pressed, withdra ort. In addition ice. ssary to mainta portant point w ast for the first icate elaborated oving the qualit <b>学術誌</b> (著書発行年	対面が困 cted a dei 118 to Feb xperiences out the ana only the el spread of ctually be awn: 21 ca n, if there was to sec time. y dependin y of couns 発行年月	tailed ruary s and alysis lderly new came ases). was e-to- ure a ng on seling

濱田庸子	精神病水準の解離への支援 ーた んぽぽの意味するものー	日本心理臨床学会第39回大会 (オンライン)	2020.11.
	小橋論文へのコメント クライエン ト・セラピスト両者にとってかけがえ のない体験過程	名古屋大学心理発達相談室紀要	2021.3.